

当別の未来・これからのまちづくり

まちづくり町民検討会議からの提言

— 当別らしいまちづくりを目指して —

町民を代表した方々の「まちづくりへの思い」

新しい
総合計画の策定

まちづくり町民検討会議では、平成 21 年度からスタートする新しい総合計画の策定に向け、これからのまちづくりについて、様々な角度から 9 回にわたる協議を重ねてきました。

その結果、提言として示されたので、内容の一部を紹介します。今後は、本提言を踏まえ、総合計画の策定を進めていきます。

地域で見守る・地域で育てるまちづくり(子育て)

共働きの増加

- ・ 保育環境の充実を求めている
- ・ 家庭教育の難しさから子育てに悩む

提言

経験豊富な高齢者などが子育てへ関与することなど、地域でのサポートが必要

青少年ボランティア

コミュニケーション能力の育成や世代間の縦の繋がりを創出することへの効果

提言

育成会を中心にボランティア活動・高齢者との関わりを促す地域づくりが大切

「大都市」札幌市と連携したまちづくり

札幌市と隣接

医療・教育・文化面などで優位

提言

農村と都市の文化が共有できるまちとして、今後も都市との交流が大切

皆知ってる「当別の農産物」づくり

農産物のブランド化・PR

地元での消費が不可欠

提言

農家・農協・商業者・消費者などの協働による地産地消の取り組みが大切

安心・安全のまちづくり

防犯・防災

普段からの準備や事態への速やかな対応が求められる

提言

町内会など地域における取り組みや体制づくり、人間関係の構築、心構えが必要

水道水

暫定水利権のため、不安定

洪水

度重なる当別川の氾濫に悩まされてきた

解決のため、当別ダムが平成 24 年に完成予定

提言

水道水の確保と治水のため、学校や地域でダムの役割について今後も理解を深めることが大切

当別ダムを生かしたまちづくり

当別ダム

ダム本来の役割のほかに観光資源としての可能性を模索することが必要

町にもたらす効果をダム完成までに検証することや、来町者の増加につながるよう町民一体となって取り組むことが必要

提言

当別ダムへ行き着くまでに町内で立ち寄れるスポットづくりが大切

協働のまちづくり・自主自立の地域づくり

町の自立 それぞれの地域の自立が不可欠

提言

地域の問題を地域で解決できるまちづくりと町内会や各団体の枠を超えた連携の中でひとつのことを成し遂げる取り組みが大切

行政だけの問題ではなく、町民ひとり一人の問題として関心を持つことが必要

財政難の問題

提言

解決に向けて個人で、家庭で、町内会や団体・グループで何ができるのかを考えていくことが大切

地域活動

リーダーの存在・サブリーダー的存在が重要

提言

協働による活動の推進には、人材の育成が急務

高齢者が生き生きと活躍するまちづくり

高齢者の存在が地域で必要

現役世代は、共働きが増加し、仕事や生活に追われ、地域や家庭を振り返る余裕が無い現状

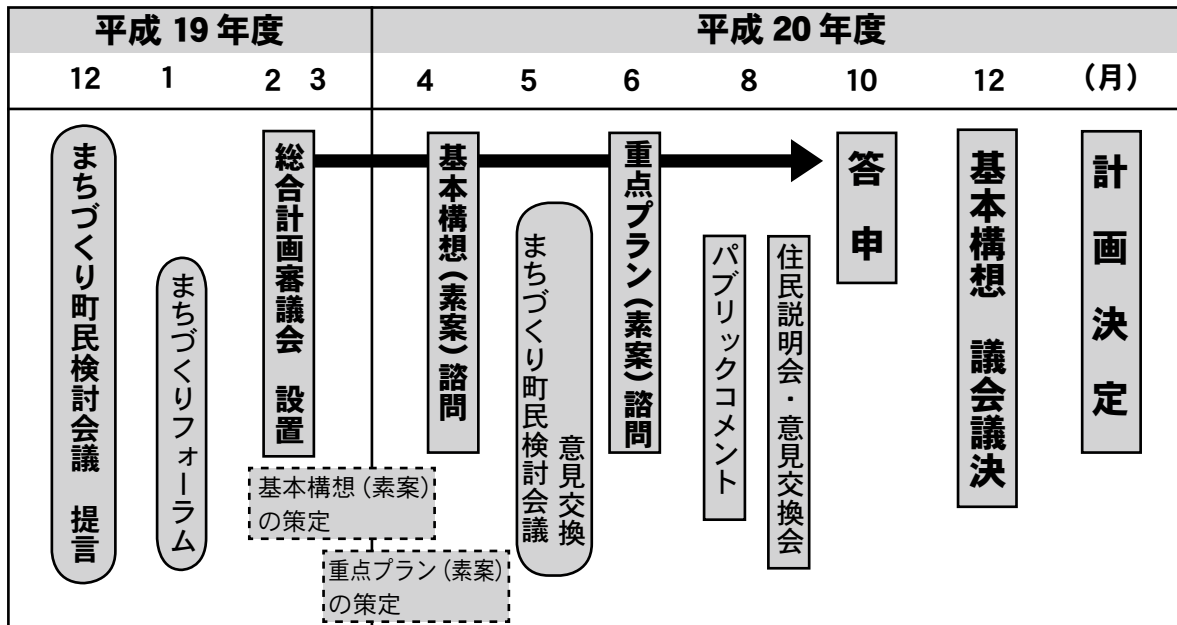
提言

高齢者が町内会に積極的に働きかけることが、これからの高齢社会にとってますます重要

以上のほかに次の視点で提言が示されています

- ① 当別らしさの創出・地域の付加価値の創出
- ② 自然を生かした景観づくり
- ③ 生活環境や利便性について
- ④ 福祉文化をはぐくむまちづくり
- ⑤ 町民と町職員の交流
- ⑥ 「ふれあい倉庫」の活用
- ⑦ コミュニティバスの充実
- ⑧ 安心して働ける雇用の場の確保
- ⑨ 地域経済の活性化
- ⑩ 総合型地域スポーツクラブの推進

総合計画策定に向けての今後のスケジュール



詳細については、提言書をご覧ください。提言書は、町ホームページから見る事ができるほか、企画課(役場2階)にて配布しています。

提言について、ご意見・ご感想をお寄せください

メールまたはFAXで意見をお寄せください。

◎メール soukei@town.tobetsu.hokkaido.jp

◎FAX 23 - 3206

▼担当 企画課総合計画係 (☎ 23 - 3042)